



クリーンカラーU水性

人と環境にやさしく、従来にない強じんな塗膜が形成される2液形水性塗料です。

塗り替えの場合、幅広いタイプの旧塗膜に**プライマーレスで塗装でき**

ローラー・はけで塗りやすく、作業感がなめらかです。

さらに、艶と肉持ち感にすぐれ、美しく仕上がります。

塗装床面の
改修に
オススメ!!

■特長

① プライマーレスのすぐれた付着性

各種旧塗膜を侵すことなくすぐれた付着性を発揮し、プライマーレスで塗装できます。※ 別途、研磨などの下地処理が必要です。

② 高光沢で耐摩耗性にすぐれた強じんな塗膜

光沢が良く塗膜硬度が高いため、耐摩耗性にすぐれ、フォークリフトのタイヤ汚れなどから床を守ります。

③ 耐薬品性

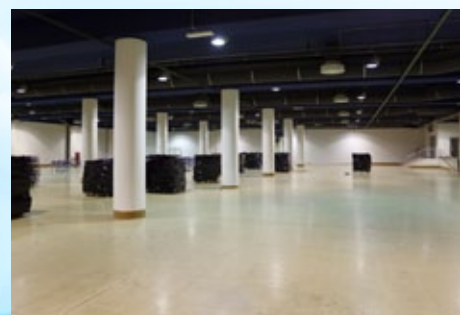
耐薬品性・耐アルカリ性にすぐれるため、工場などの屋内用途に適しています。

④ バランスのとれた使いやすさ

耐候性・耐水性にすぐれるため、屋外用でも使用できます。乾燥性も良好で、性能バランスの取れた使い勝手の良い水性塗料です。

⑤ 人と環境にやさしい

水性塗料なので臭気が少なく、安全にお取扱いいただけます。



※ 写真はイメージです。

■製品体系

品名	系統	色相	容量
ニッペクリーンカラーU水性	水性2液形 ポリウレタン樹脂床用塗料	塗料液: 各色 硬化剤: 無色	15kgセット (塗料液14kg: 硬化剤1kg)

■塗装基準

混合比	ポットライフ		軽歩行可能時間		
	23℃以下	30℃	10℃	23℃	30℃
塗料液 14:1 硬化剤	2時間	1時間	16時間	4時間	3時間

★ 2液形塗料は、塗料液(主剤)と硬化剤の混合割合を必ず守り、ポットライフ以内に使用してください。(硬化剤の過不足やポットライフ以降の使用は、付着性、造膜性、硬化性、乾燥性、耐汚染性の低下や色相変化が起こるなど、塗膜性能や仕上がりが外観に悪影響を及ぼします。)

★ 車両の走行は塗装後72時間が経過した後にしてください。早期の使用は、塗膜が剥がれたり、靴跡、タイヤ跡などの不具合が生じます。

■適用下地

各種旧塗膜下地など ※ アスファルト面を除く。
(下地の種類や状態により、適切な下地処理を行ってください。)

■用途(屋内外用)



一般工場



食品工場



倉庫・配送センター



事務室・教室



厨房・食堂



店舗・事務所



通路・廊下・階段



コンクリート駐車場
(屋内外)

ニッペ クリンカラーU水性

標準塗装仕様

【新設】平滑仕上げ／防滑仕上げ

※防滑仕上げの場合のみ、骨材散布をします。

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
素地調整 (新設)	新設コンクリート・モルタルは夏季30日以上、冬季40日以上養生させ、表面のpHが10以下、含水率が10%以下(ケット科学社製CH-2型で測定した場合)、または5%以下(ケット科学社製Hi500シリーズで測定した場合)になってから施工してください。表面のレイタンスや不純物は完全に除去してください。ひび割れ、巣穴、不陸などは、あらかじめエポキシ樹脂パテなどを充填し平滑にしてください。						
下塗り	ニッペクリンカラー-Wカチオンプライマー	1	0.15~0.25	4時間以上72時間以内	—	—	はけ・ローラー
上塗り①	ニッペクリンカラーU水性	1	0.13~0.17	3時間以上48時間以内	水道水	3~7%	はけ・ローラー
(骨材散布)*	上塗り①塗装直後、珪砂6号あるいは珪砂5号を50~300g/m ² を適量散布する。乾燥後余分な珪砂は、除去、清掃する。						
上塗り②	ニッペクリンカラーU水性	1	0.13~0.17	3時間以上48時間以内	水道水	3~7%	はけ・ローラー

【塗り替え】平滑仕上げ／防滑仕上げ

※防滑仕上げの場合のみ、骨材散布をします。

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
下地処理 (既存塗膜改修)	剥がれかかった既存塗膜は完全にケレン除去してください。研磨紙P40~P100あるいはポリッシャー(ワイヤー)にて表面を研磨し目粗してください。ごみ、ほこり、油分などは除去し清浄な面としてください。表面にワックスがある場合は水性ワックス用はく離剤ではなく離してから水洗いを十分に乾燥してください。ひび割れ、巣穴、不陸などは、あらかじめエポキシ樹脂パテなどを充填し平滑にしてください。						
上塗り①	ニッペクリンカラーU水性	1	0.13~0.17	3時間以上48時間以内	水道水	3~7%	はけ・ローラー
(骨材散布)*	上塗り①塗装直後、珪砂6号あるいは珪砂5号を50~300g/m ² を適量散布する。乾燥後余分な珪砂は、除去、清掃する。						
上塗り②	ニッペクリンカラーU水性	1	0.13~0.17	3時間以上48時間以内	水道水	3~7%	はけ・ローラー

- ★既存塗膜の改修の場合は、必ず表面を研磨し目粗してください。不足している場合は、はく離が生じる場合があります。
- ★塗り替えの場合でも、コンクリートやモルタルが露出している箇所には、プライマーの補修塗りが必要です。
- ★具体的な素地調整方法については、ニッペクリンカラー施工マニュアルをご参照ください。
- ★上記の各数値は、標準的な数値です。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定機器・測定方法により増減します。
- ★上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、所定の使用量・膜厚になるように使用量・塗り回数を調整してください。
- ★塗り重ね乾燥時間は目安です。使用量、通風、湿度および素地の状態によって異なります。
- ★塗料液と硬化剤を混合後の塗料については、必ず使い切るようにしてください。
- ★塗料液と硬化剤の反応に伴い、炭酸ガス(CO2)が発生します。混合後の塗料を密閉容器に保管しますと、炭酸ガスにより、容器内の圧力が高まることから、密閉容器への保管は避けてください。特に高温になる環境(夏場・車内等)では炭酸ガスの発生が促進し、フタが飛び等の恐れがあることから、絶対に避けてください。
- ★本製品を混合後に、塗料が余り、容器に保管する必要がある場合は、混合から翌日までは、蓋をせず保管してください。
- ★万が一、混合後に密閉容器に保管してしまった場合には、容器内部の圧力が上昇しているおそれがあります。容器のフタを開ける際、ガス圧力により塗料が飛散するおそれがあることから、ウエス等でフタを覆い、あらかじめガス抜きを実施した後、フタを開けるようにしてください。

■施工上の注意 (詳細な内容につきましては、製品使用説明書などにてご確認ください。)

- ・オーバーコートにクリンカラーマークガードは使用しないでください。
- ・塗膜に剥がれが生じる恐れがありますので、アスファルト面への塗装は避けてください。
- ・使用量は、塗料のみについての記載です。塗料の中に珪砂やウレタンチップを混合して防滑仕上げする場合は、混合する珪砂、ウレタンチップの使用量は含まれていません。
- ・ワックスを使用している床面は付着阻害を起こしますので、ワックス用はく離剤などで除去し、水洗いを十分に行い十分に乾燥後、塗装してください。
- ・施工後、車輪のタイヤ、ゴム長靴やコード類など可塑剤を含むものを置くことと軟化し粘着性が生じますので、置かないでください。
- ・厚く塗り過ぎると乾燥が遅れたり、ひび割れが入ったりしますので、厚付けに注意してください。
- ・旧塗膜が何回も塗り重ねられて積層している場合、塗膜全体が柔らかくなっている場合があります。この場合は、そのまま塗り重ねると塗膜の物性差によって塗膜剥がれが発生するおそれがありますので、旧塗膜をはく離してから塗装してください。
- ・軽歩行は塗装後、4時間以上経過した後より可能です(23℃)。車輪の走行は塗装後72時間が経過した後にしてください。早期の使用は、塗膜が割れたり、靴跡、タイヤ跡などの不具合が生じます。
- ・アスファルト面への塗装は、割れが発生しますので、避けてください。
- ・旧塗膜がエポキシ系、ウレタン系の場合は、ポリッシャー・サンダーで表面を目粗してください。
- ・下地が強化コンクリートや着色コンクリートの場合は、付着性向上のため研削機を用いて、下地表面を物理的に目粗するが、床処理液で化学的に表面処理するかなどとってください。
- ・常時、水が溜まる箇所は傾斜をとり、排水溝を設けるなどして、排水処理を行ってください。
- ・常時水がかかると可能性がある場所、または下から(塗膜の裏面から)水分が回る可能性がある場所には、クリンカラー-Eレジンモルタルを使用した塗装仕様で塗装してください。
- ・下地表面の油脂や汚れは溶剤などで十分に除去してください。
- ・下地コンクリート表面のレイタンス、エフロレシンスなどの粉化物、ぜい弱部は十分に除去してください。ひび割れ、巣穴、不陸などがある場合や、旧塗膜に剥がれがある場合には、あらかじめエポキシ樹脂パテなどを充填するなど、段差修正や部分補修などを行い、平滑面にしてから塗装を行ってください。
- ・塗り替え時で、旧塗膜が弾性的な場合は使用しないでください。
- ・旧塗膜の種類が不明の場合には、必ず試験施工で適性を確認してください。塗り替えの際、旧塗膜の劣化状況や付着状況、または使用環境などによりシーラーレスの塗料でもプライマーが必要な場合があります。
- ・シンダーコンクリート面に塗装する場合は、プライマーを数回(2~3回)塗装し、素材表面の強度を向上させてから上塗りを塗装してください。
- ・塗料の中に珪砂を混合して防滑仕上げする場合は珪砂は沈殿し易いので、かき混ぜながら塗装してください。
- ・施工に関する詳細な注意事項は施工マニュアルをご参照ください。
- ・硬化が不十分な場合は、シンナーで再溶解する場合があります。
- ・水、アルコール系溶剤の混入は絶対に避けてください。
- ・硬化剤は湿気で硬化しますので密栓して貯蔵してください。
- ・硬化剤は引火性溶剤を含有しているため、蒸気、ミストなどを吸い込まないようにしてください。また、皮膚に付着しないよう十分に注意してください。
- ・塗膜の乾燥過程で水分の影響を受けた場合(高湿度、結露、降雨など)、塗膜表面が白化するおそれがあります。水分の影響を受けるおそれがある場合は、塗装を避けてください。
- ・塗装後24時間以内で乾燥不十分な状態で降雨結露などがある場合や、低温、高湿度、通風のない場合には、影、はく離、剥離、白化、シミが発生する恐れがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装する場合は、強制換気などで湿気を飛ばすようにしてください。シミが発生した場合は乾燥後拭き取って除去してください。
- ・色相によっては降雨、結露によって濡れ色になる場合がありますが、乾燥すると元に戻ります。
- ・反応硬化タイプの塗料のため、使用後のけいねはできるだけ早く水で洗浄してください。固まった場合は、すみやかにラッカーシンナーで洗浄してください。
- ・旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害を起こすおそれがあります。
- ・改修工事にご使用の場合は、旧塗膜の種類によっては溶剤などの影響により、旧塗膜を厚く剥離や剥がれや縮みなどの異常が発生する場合がありますので、旧塗膜の種類をご確認の上、塗装仕様をご確認ください。
- ・素地表面のアルカリ度はpH9以下、表面含水率は9%以下(ケット科学社製CH-2型で測定した場合)、または4.5%以下(ケット科学社製Hi500シリーズで測定した場合)の条件で塗装してください。
- ・表面のごみ、ほこり、エフロレシンス、レイタンスなどを除去し、目違い、ジャンカ、コールドジョイントなどは、樹脂入りセメントモルタルで平滑にしてください。
- ・塗装場所の気温が5℃以下、湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、屋外塗装は避けてください。
- ・屋外塗装は降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
- ・塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。
- ・塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行い、火気厳禁にしてください。
- ・飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- ・製品は内容物が均一になるようにくはんしてください。薄めすぎは隠れ力不足、仕上がりが不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
- ・ローラー塗りの場合は、ローラー目は一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相が異なって見えることがあります。
- ・汚れ、傷などにより補修塗料が必要な場合があります。使用塗料のロットを必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法等の塗装条件を同一にしてください。
- ・塗装面以外に付着した場合は、乾燥するまでにラッカーシンナーまたは塗料用シンナーで洗い落とすようにしてください。
- ・ローラー・ハケなどは、他の塗料での塗装に使用するとハジキなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用でください。
- ・使用前に内容物が均一になるようにくはんし、開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密封してから暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
- ・製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

■安全衛生上の注意事項

ニッペクリンカラーU水性 塗料液		横倒禁止	
<ul style="list-style-type: none"> ・本来の用途以外に使用しないでください。 ・使用前に取扱説明書を理解して、取り扱ってください。 ・取扱いは、手洗いやお風呂を十分にしてください。 ・適切な保護手袋・防毒マスクまたは防塵マスク・保護眼鏡・保護面罩/保護衣を着用してください。 ・必要に応じて個人用保護具を使用してください。 ・飲み込んだ場合: 気分が悪い時は、医師に連絡してください。口をすすいでください。 ・眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用している場合に外してください。その後も洗浄を続けてください。 ・目の刺激が続く場合は、医師の診断・手当てを受けてください。 ・取り扱った後、手を洗ってください。 ・粉塵、蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった時は、安静にし、必要に応じてできるだけ医師の診察を受けてください。 ・暴露した時、気分が悪いなどの症状がある場合は、医師に連絡してください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・火災時には、炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。 ・容器からこぼれた時には、布で拭き取って水を張った容器に保管してください。 ・瓶旋して子供の手の届かないところに保管してください。 ・直射日光や水濡れは厳禁です。 ・塗料等の缶の積み重ねは3段までとってください。 ・日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上(スプレー缶の場合は40℃以上)の温度に暴露しないでください。 ・内容物/容器を廃棄する時には、国/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。 	<p>危険</p>	<p>危険有害性情報</p> <p>強い眼刺激 / 発がんのおそれの疑い / 生殖能力または胎児への悪影響のおそれ</p>

日本ペイント株式会社

お客さまセンター

☎ 03-3740-1120

☎ 06-6455-9113

http://www.nipponpaint.co.jp/

●当社は2014年6月現在、ISO14001を全事業所で認証取得しております。
●このカタログは再生紙を使用しています。

●本カタログの内容については予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
●本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイント株式会社、その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
●©Copyright 2014 NIPPON PAINT Co., Ltd. All rights reserved.

●さらに詳しい情報は、専用Webサイトへアクセス
http://www.nipponpaint.co.jp/biza/building.html

日本ペイント 建物 検索

カタログNo.

NP-S031

AA140612T
2014年6月作成